

おじちゃんのお別れ会ありがとうございました。  
紙面の都合上、一部割愛して掲載させていただきます。  
ます。

## 《ロバ組》

おじちゃんのお別れ会に参加して、たくさんおじちゃんのことを思い出しました。とても残念で、寂しかったけど、でも、「おじちゃん、ありがとう」と、きちんとお別れできて良かったです。おじちゃんがいないことが、まだ信じられず、思い出しては涙が出ます。「おじちゃん!!」と呼んだら、返事をしてどこからか出てきてくれる様な気がしますね……。おじちゃんの訃報を聞いたときは、まさか……。驚きとショックな気持ちで言葉が出ず、元気な姿ばかり思い出していました。先生方も、悲しみでいっぱいはずなのに、いつもと変わらず明るく接して下さり何と声をかけようか……。言葉が見つからずにいました。でもおじちゃんのためにも、園の子ども達がいるからこそ、先生方も明るくいられるのカナ……。さらちゃんも、おじちゃんが亡くなったということをしつかり受け止めている様で、おじちゃんの話をする時は、寂しそうに、「おじちゃん、苦しくなかつたカナ……」と、時々目をうるませていました。去年、ひいおじいちゃんを病気で亡くしたので、その時に「死」というものを近くで見えたこともあって、重なっているのだと思います。ママが、「おじちゃん、天国に行っちゃったね……」と聞くと、「うん……」だけどずつと保育園にいるよ!!ずつとみんなのこと見てるよ!!鳥になつて飛んでくるかもしれないし……と素直なままの言葉が返ってきました。のんちゃんも、保育園に行き、おじちゃんに会う度に「大きくなつたなあ」と、頭をなでてもらっていたこと、ずつと覚

えています。おじちゃんの優しい笑顔は、いつまでもみんなを見守ってくれていますね。

おじちゃんのお別れ会ありがとうございました。お別れの節目ができました。でも何でおじちゃんは私の親でもおじいちゃんでもないのにこんなに悲しくて思いうすうと涙が止まらなくなるのでしょうか……。なんだろう。というろろ考えました。きつとたくさんたくさんお世話になつたのに感謝、お礼の気持ちを面とむかつて伝えていなかつたからなのでしようね。子どもが卒園する時に伝えれば……。と勝手に思い過ぎていたのです。お見舞いだつてそうです。子どもに言われませんでした。「だから早くお花持つて行こうって言ったの」と。本当に悔やまれてなりません。そして今日救われた事。西谷牧師さんが、「おじちゃんは天国で一番すてきな場所に迎えられて幸せにニコニコしているよ。」と話されたことです。私は思い違いをしていました。おじちゃんがさみしがっているのだらうと。それは違つたのですね。あたり前です。おじちゃんのような人が天国の中でも一番の場所に行けないわけがないですよ。でもおじちゃんきつとそこでも偉ぶつてないんだらうなあ。ただニコニコ 地上を見守っている姿が目に見えませんでした。先生方からのメッセージも読ませていただきました。口数の少ないおじちゃんからの一言一言。ズキツとしました。早番で泣いている子どもに「泣きたいだけ泣けばいい」親の手から離れ、おじちゃんの腕の中でジタバタする我が子のことかと思ひ出されました。子どもから離れ、後ろ髪を引かれる思いで子どもの泣き声を聞いていたあの頃。私の心の中では「早く泣きやんで、泣かないで」と叫んでいました。でもおじちゃんは決して泣き止んでなんて思っていないのですね。「好きなだけ泣いて